

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月 8日

事業所名 社会福祉法人ハッピーステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			【工夫している点】 ・活動内容や利用者の特性に応じて、複数の部屋を使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3		3	・イラストや写真を活用し、視覚支援を取り入れています。 ・掃除、消毒、換気を行い、心地よく過ごせる空間づくりを行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		【課題・改善目標】 ・法令の人員基準は満たしていますが、活動内容や児童の様子によって、人手不足を感じることもある為、事前準備やスタッフ配置の工夫によりサービス向上に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	3	【工夫している点】 ・月1回会議を行い、問題点等を話し合っています。 ・自己評価の結果については、事業所内で情報共有をはかり、改善を目指しています。また、事業所ホームページにて公開しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		【課題・改善目標】 ・新型コロナが5類に移行され、外部研修への参加が少しずつ可能になったとはいえ、人手不足等で、研修機会の充実が難しい現状があります。オンライン研修の活用を行い、資質向上に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・PDCAサイクルについて、全スタッフに目標の周知ができていない為、日々の情報共有だけにとどまらず、目標の共有や話し合いの機会を設けるよう努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	3	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1		5	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		【工夫している点】 ・送迎時に聞いたニーズ等は速やかに児童発達支援管理責任者に報告し、情報共有に努めています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1	・共通のアセスメントツールを活用し、利用者一人一人の特性に応じたサービス計画を作成し、6ヶ月ごとに見直しを行っている

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
適切な支援の提供	12	放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2		<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス計画では、個別の目標と集団活動での目標を組み合わせ、支援内容を設定しています。 ・身体を動かす活動、工作、買い物等、さまざまな活動を設定しています。また、季節行事の活動も織り交ぜたり、利用者のリクエストを反映させたり、利用者が楽しめるよう工夫をしています。 ・長期休暇には、平日には出来ないような活動（外出など）を設定しています。 ・毎日、一人一人の様子を記録し、子どもの状況やペースに合わせた集団活動ができるようサポートしています。 ・スタッフ間の情報交換、役割分担、気づいた点は、LINE等を使用してこまめに連絡を取り合い、共有できるようにしています。 <p>【課題・改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌や定期的な会議により、支援内容の検証を行っているが、より充実した支援を行う為、適切な活動内容の設定を行っていきます。 ・気づいたことや連絡事項等、必要なことはスタッフ間で共有しているが、毎日必ずではない為、できるように改善します。 ・利用者が安心・安全に過ごすことができる空間を提供する為、スタッフの充実をはかります。
	13	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	5	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	1	4	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	3		
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3		
22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	3			
関係機	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3		<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議については、児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・学校行事、送迎時間、トラブル等については、連絡帳、電話、LINEを通じて保護者との情報共有をはかっています。 <p>【課題・改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のない子どもとの交流や地域参加は
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	4	<p>実現できていない為、交流機会を設定できるよう努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談等に迅速に対応できるよう、家族支援プログラムも念頭におき、体制を強化していきます。 ・学校や相談支援員との情報共有を行っているが、一体的な支援の為、より綿密な支援体制をつくれるよう努めます。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	3	
	28	放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	3		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		4	2	
保 護 者 へ の 説 明 責 任	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	4		<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題や相談の申し入れについては、連絡帳、電話、LINEにて迅速に対応しています。 ・活動概要や行事については、毎月の予約票や文書を通じて、保護者にお知らせしています。 <p>【課題・改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の開催や地域住民との交流の機会は設けられていないが、状況に応じた面談や情報交換によって、保護者同士の繋がりが地域住民との交流ができるよう体制を考えていきます。 ・運営規程、利用者負担等については契約時に説明し、サービス計画については同意上で記入捺印していただいています。変更等があれば書面や口頭により随時説明していますが、よりわかりやすく丁寧な説明を心がけます。
	33	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	3	3		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
正 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、活動の一つとして避難訓練を実施し、様々な災害を想定して内容を設定しています。 ・食物アレルギーや服薬、発作等については、保護者より医師の指示事項や注意点を聞き取っています。また、変更等があれば、保護者から随時連絡をいただき把握しています。 ・ヒヤリハット事例は定型書式でまとめ、月1回の会議にて共有・精査しています。 ・年間の研修計画において、虐待防止研修を設定しています。 <p>【課題・改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルについては、適宜見直しを行い整備します。 ・身体拘束を行うか否かも含め、利用時の対応については、事前に保護者への丁寧な説明を行い、理解・信頼を得られるよう努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	2		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	3	3		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	1	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。